



**スカイプの内容**

今回は、卵(鶏卵)のいろいろな調理方法を英語で説明しながら実際に生徒たちがその料理を作る。具体的には、「焼く」、「包む」、「ゆでる」、「生(そのまま)」といった料理を4つ紹介し、その食べ方も伝える。

10:30-11:00 調理室で設営準備

1100 津島高校からスカイプ通話開始の合図を送る すぐにつながる

11:01-11:40 スカイプ通話(新校長先生への挨拶、日本で食べる卵料理の紹介)

バンコクの学校は10月が休みであったため、約2か月ぶりのスカイプになった。WS高校では新たにPichuta校長先生が着任されたようである。今回のスカイプの最初のところで挨拶を交わし、今後の良好な交流の継続をお願いした。まずは前半に本校生徒が日本で食べる卵料理を紹介した。



- 1 目玉焼き フライパンで卵を焼いてベーコンを添えたもので朝食によく食べると説明。タイにもあるそうだ。
- 2 オムライス ケチャップでからめたご飯を、薄く焼いた卵で包むつもりが、得意だからと勢いに乗って作っていたら卵の分量を間違えてしまう。卵が厚くなり、結局ケチャップライスの上に乗せることになった。
- 3 おでん 今回は、ゆで卵、大根、ごぼう巻、昆布、こんにゃく、しらたき、ちくわの7種類の具材で作った。おでんとは鍋物の一種で、普通は冬に食べるものと説明。
- 4 卵かけご飯 外国では、生卵を食べる習慣はない。そのため、ご飯に生卵を乗せ醤油を入れ、それをかき混ぜて食べるというところを実演したら、“Oh, my God~!”という驚きの声が上がっていた。それは、「もういい!」というような意味でもあったが、日本特有の食文化を披露できたという不思議な誇らしさも感じた。バンコクの先生方と生徒たちに、どれが一番食べたいかと尋ねたところ、オムライスが最も多かった。なかには、卵かけご飯、と答えたチャレンジャーな生徒もいた。

1 目玉焼き



2 オムライス



3 おでん(ゆで卵)



4 卵かけご飯



11:40-12:20 スカイプ通話(バンコクでの食べ物、及び学校行事)

後半では、今度はバンコクの生徒がパンケーキに似たお菓子を紹介してくれた。黄色のコーンの粒が入っているものでワッフルのようにも見えた。とても甘いものだという。WS高校訪問の際にいただけることになった。WS高校では、12月13日(金)にスポーツ大会がありバスケットボールやバレーボールで盛り上がる。また、12月25日(水)には、クリスマスに合わせてイングリッシュキャンプがある。仏教の国であるが英語の授業の一環としてそうした企画があるということであった。本校では、WS高校のその二つの行事に合わせて次回のスカイプを計画したい。

